

新
朝
桂
芳
席
画

秀
賀
作

繪
三
九

第十
卷

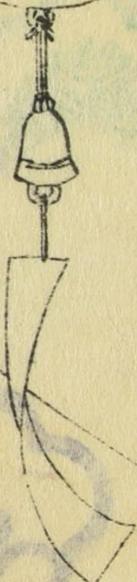
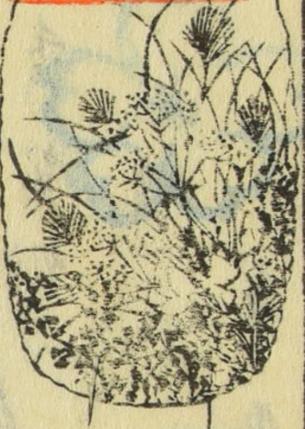
輯

下
之
卷

~ 13
3722
20



門 3722
 券 20



せりの果

新 丈

春の聲

よ 糸 連

佛 師

ぼんね

撰 巻 下 の 巻



海公十

十一

Handwritten text in the top right corner of the right page, likely a chapter or section header.



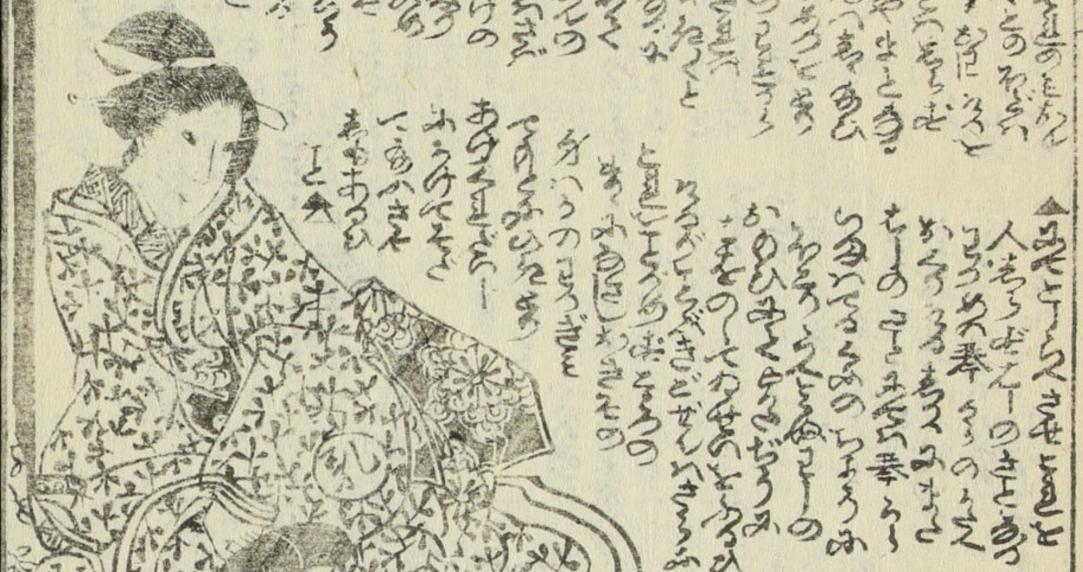
Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a caption or commentary.

Handwritten text in the top left corner of the left page, likely a chapter or section header.



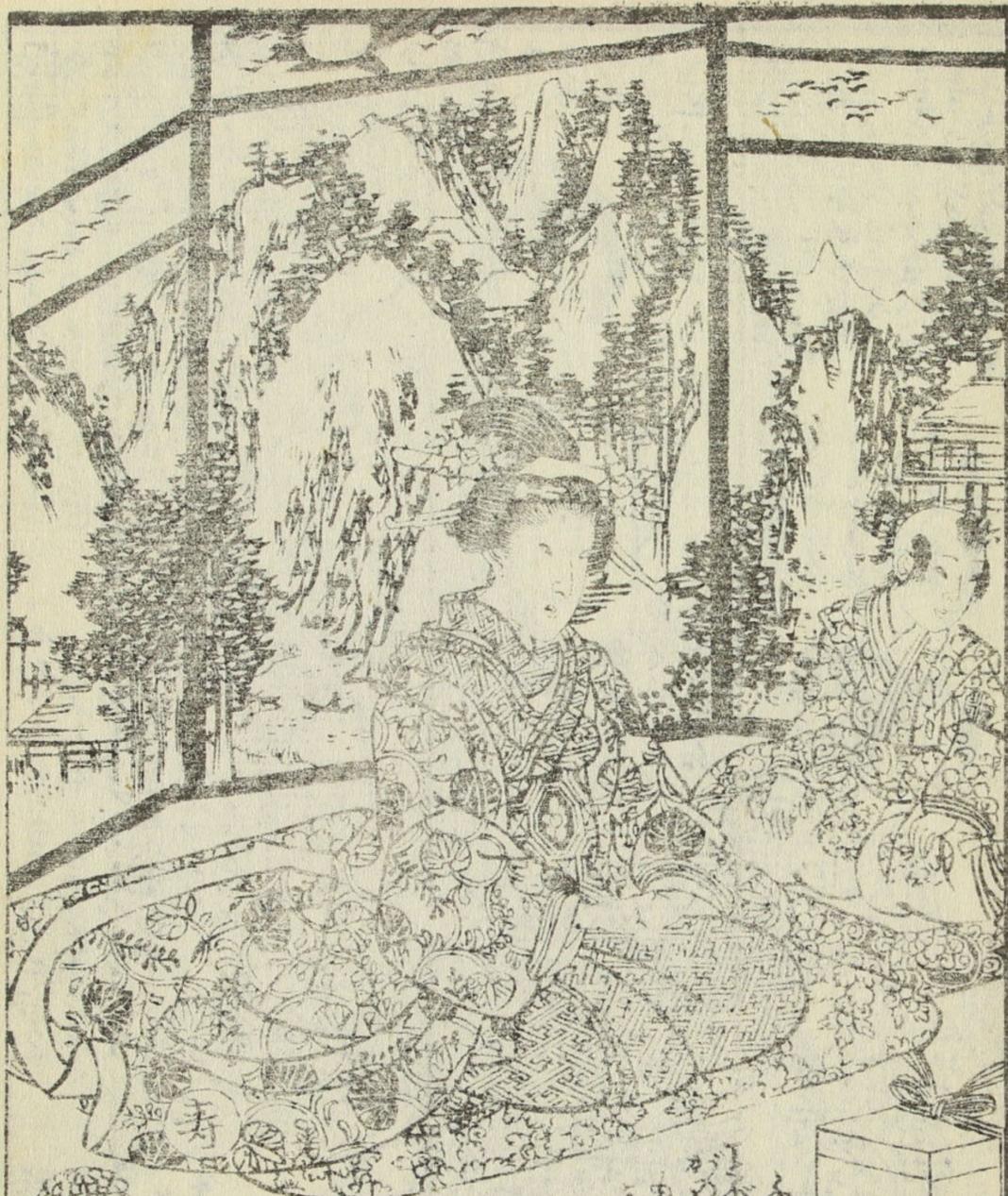
Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a caption or commentary.

此の如く梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな
 梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな
 梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな



梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな
 梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな

梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな
 梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな



梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな
 梅の花の如く
 人々の心を惹きつける
 秋霜の如く清らかな
 花の如く静かな

